

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 4

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	04	01	
細事業名	外国語指導助手招致事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 小中学校での外国語教育及び国際理解教育の促進 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全小中学校で英語指導助手による活動を実施

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 自治体国際化協会のJETプログラムによるあっせんを受け、6人の英語指導助手を招致・採用し、市内6つの拠点中学校へ配置。小中学校の児童生徒への英語教育を行った。特に平成21年度から小学校において新学習指導要領による英語活動が実施されたため、小学校での取り組みが増えた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全小中学校で英語指導助手による活動を実施

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	22,071	国庫支出金		
	4	2,955	府支出金		
	7	238	起債		
	8	120	分担金・負担金		
	9	526	その他		
	11・12	41			
	14・18	36			
	19	748	一般財源		26,735
事業費合計		26,735	合計		26,735

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成21年度からは学校数などをふまえて町域を超えて有効に活動できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成21年度からは学校数などをふまえて町域を超えて有効に活動できた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成21年度からは学校数などをふまえて町域を超えて有効に活動できた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の経費で行っている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で行っている。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で行っている。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">引続き英語指導助手を招致・採用し、小中学校での英語教育を推進していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	引続き英語指導助手を招致・採用し、小中学校での英語教育を推進していく。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	引続き英語指導助手を招致・採用し、小中学校での英語教育を推進していく。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">児童生徒への英語教育を継続して行っていく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	児童生徒への英語教育を継続して行っていく。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	児童生徒への英語教育を継続して行っていく。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 1

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	03	01
	細事業名	指導主事設置事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 5 学校、地域の安全確保 6 地域に開かれた学校づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校教育の充実・振興を図るため、指導主事を配置し、学校教育全般にわたり専門的事項に関する指示と指導を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 指導主事12人(本庁に6人、地域公民館に6人)を配置し、市内の各幼稚園及び小中学校に対し、学校教育全般にわたる専門的事項について、その識見と経験を生かした指示及び指導ができた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な数値指標の設定は困難であるが、教育指導者としての豊富な経験を生かした適切な指導・助言により、学校・学級経営、授業改善、児童生徒指導、保護者対応など学校運営の円滑な推進に寄与している。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	23,976	国庫支出金		
	4	3,293	府支出金		
	9	1,326	起債		
	11	10	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		28,605
事業費合計		28,605	合計		28,605

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	指導主事の教育指導者としての経験や専門的知識が、指示や指導を通じて教育現場や教師に浸透しつつある。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	条例等に基づく指導主事報酬や費用弁償、社会保険料等が経費の大部分であり、コスト削減の余地は無い。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 複雑多様化しつつある教育現場への指示及び指導は、今後とも必要不可欠であり、現状の取り組みを継続する。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
A 事業拡大	理由 学校再配置計画と学校教育改革構想を推進するため、指導主事の増員が必要となっている。	
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 2

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	04	01
細事業名	学校保健事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校保健安全法に基づき、幼児児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。また、幼稚園、小中学校の幼児児童生徒の事故災害について災害給付を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 就学前幼児を対象に就学時健康診断を実施するとともに、幼稚園及び学校管理下における事故災害に対する災害給付を行った。また、学校保健安全法に基づき児童生徒結核対策委員会、教職員結核審査会を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	1,023	国庫支出金		
	8	105	府支出金		
	9	4	起債		
	11	144	分担金・負担金		
	13	140	その他		
	14	1			
	19	5,410			
事業費合計		6,827	一般財源		6,827
			合計		6,827

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 就学時健康診断の実施により小学校入学予定者の健康状態を把握し、心身ともに最良の状態で就学させることができた。また、学校保健安全法に基づき児童生徒結核対策委員会、教職員結核審査会を開催した。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 日本スポーツ振興センターの災害給付掛金が主である。医師報酬は条例に基づくものであり、その他経費も必要最小限でありコスト削減の余地は無い。
	▲ 少し削減の余地があった	
	× 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 幼児児童生徒及び教職員の健康の保持増進は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 今後、事業対象となる幼児児童生徒教職員数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 3

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	05	01
細事業名	学校医委嘱事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校保健安全法に基づき、幼稚園及び小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 幼稚園及び小中学校に学校医17人、学校歯科医17人、学校薬剤師14人を委嘱し、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。また、新型インフルエンザ流行時には、拡大防止に向け学校・学級閉鎖の時期等、適切な助言を受けることができた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	34,561	国庫支出金		
	9	40	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		34,601
事業費合計		34,601	合計		34,601

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
○ 進捗している(できている)	理由	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。				
▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)						
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">条例等に基づく医師報酬や費用弁償であり、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	条例等に基づく医師報酬や費用弁償であり、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	条例等に基づく医師報酬や費用弁償であり、コスト削減の余地は無い。				
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION									
改善	事業内容の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">幼児児童生徒の健康管理、教育現場の衛生管理は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	幼児児童生徒の健康管理、教育現場の衛生管理は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。		B 内容の見直し		C 統廃合・休止・終了
A	A 現状維持	理由	幼児児童生徒の健康管理、教育現場の衛生管理は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。						
	B 内容の見直し								
	C 統廃合・休止・終了								
	事業規模の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">今後、事業対象となる幼児児童生徒数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	今後、事業対象となる幼児児童生徒数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。		B 現状維持		C 事業縮小
B	A 事業拡大	理由	今後、事業対象となる幼児児童生徒数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。						
	B 現状維持								
	C 事業縮小								

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 4

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	06	01
	細事業名	学務経費				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 教員の指導力の向上を図り、児童生徒の学力向上と問題行動・不登校対策等を促進するため、教員研修や教育相談を実施するとともに、児童生徒が心にゆとりを持ちながら学校生活を送るための環境づくりや就学指導を進める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 若手教員を対象に教育大学教授による授業実践力開発講座を開催し、問題行動や不登校(傾向含む)の児童生徒の担任・保護者を対象に専門家による教育相談を実施した。また、心にゆとりを持つ環境づくりとして、小中学校音楽フェスティバルや特別支援学級ふれあい交流会を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 音楽フェスティバルには、各校が数年おきに参加することとなり、小学校5校、中学校1校、プラスバンド6校が参加した。また、ふれあい交流会へは市内の特別支援学級在籍の児童生徒が参加した。通常授業以外での学習の場が設定できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	180	国庫支出金		
	11	320	府支出金		
	12	61	起債		
	13	2,172	分担金・負担金		
	14	134	その他		
	19	220			
			一般財源		3,087
事業費合計		3,087	合計		3,087

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">教員の指導力向上のためには、専門家による教員研修や教育相談は極めて有効な取り組みであり、各種行事の実施は児童生徒の学校生活の充実にも寄与している。事業効果の早期具現化は困難だが、今後の一定効果の積み重ねに期待したい。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	教員の指導力向上のためには、専門家による教員研修や教育相談は極めて有効な取り組みであり、各種行事の実施は児童生徒の学校生活の充実にも寄与している。事業効果の早期具現化は困難だが、今後の一定効果の積み重ねに期待したい。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	教員の指導力向上のためには、専門家による教員研修や教育相談は極めて有効な取り組みであり、各種行事の実施は児童生徒の学校生活の充実にも寄与している。事業効果の早期具現化は困難だが、今後の一定効果の積み重ねに期待したい。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
改善	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">講師謝礼や教育相談委託料が中心であり、必要最小限の経費で実施しているため、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	講師謝礼や教育相談委託料が中心であり、必要最小限の経費で実施しているため、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	講師謝礼や教育相談委託料が中心であり、必要最小限の経費で実施しているため、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 7

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	12	01
細事業名	教科用図書採択事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 小中学校において使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を図るため、学校教科用図書選定委員会を設置し、調査・研究を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 中学校で使用する歴史教科書の新刊があったため、選定委員会を設置して調査・研究を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 選定委員会の答申を受けて、市教育委員会としての教科書採択を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	16	国庫支出金		
	9	8	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		24
事業費合計		24	合計		24

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	
	○ 進捗している(できている)	理由	国の関係法令に基づき、設置が義務付けられているものである。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由		
改善	○ 削減の余地がなかった	理由	委員謝金は市の非常勤特別職に準じており、また、旅費は費用弁償であるためコスト削減の余地は無い。
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 9

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	04	01
細事業名	児童教職員健康管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 児童、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校保健安全法等関係法令に基づき、市内小学校31校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。 なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。 また、保健室等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	72	国庫支出金		
	11	2,048	府支出金		
	13	8,017	起債		
	14	682	分担金・負担金		
	18	204	その他		
			一般財源		11,023
事業費合計		11,023	合計		11,023

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 学校設置者として児童、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 児童、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 10

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	01	01
	細事業名	小学校教育振興事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校、家庭、地域との連携を深めながら、学習活動はもちろん、社会奉仕活動、自然体験活動を通して豊かな人間性の育成に努める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学習活動に要する消耗品費等のほか、校外での社会見学や体験活動等に要するバス利用の支援、また、遠距離通学児童44人に対しバス通学費等への補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な指標設定は困難であるが、校外での社会見学や体験活動を行うことが、児童の心身の育成を図る有効な手段となっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	1,520	国庫支出金		
	11	13,765	府支出金		
	13	2,540	起債		
	14	1,720	分担金・負担金		
	19	686	その他		
			一般財源		20,231
事業費合計		20,231	合計		20,231

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 学校外での様々な学習活動が可能となり、また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 当面は現状の支援内容を継続するが、校外学習での一定の保護者負担もあることから、一層の充実を検討することが必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 同上
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 11

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	02	01
細事業名	小学校教育振興備品整備事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 授業に必要な教材備品を整備し学習活動の支援を行う。また、学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内31小学校に教材備品や学校図書を整備した。図書購入は、全校で5,737冊である。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 国の基準に沿って不足している教材備品や学校図書の整備を進めているもの。教材備品や図書の購入が、児童の活動への意欲や読書活動の充実に繋がっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	383	国庫支出金	理科教育設備整備費等補助金	4,939
	13	89	府支出金		
	18	30,260	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		25,793
事業費合計		30,732	合計		30,732

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">同上</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	同上	B 現状維持
A 事業拡大	理由	同上			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 12

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	03	01
細事業名	小学校就学援助事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 義務教育の機会均等に資するため、経済的理由又は心身障害によって就学困難な児童の保護者に対して学用品費等を補助することにより就学の負担を軽減し、小学校での円滑な教育が実施されることを目的とする。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 経済的理由又は心身障害によって就学困難な児童の保護者に対して学用品費、給食費等を補助した。要保護認定者18人、準要保護認定者283人、特別支援教育就学奨励費支給51人。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 認定者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	20	18,234	国庫支出金	就学援助費補助金等	580
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		17,654
事業費合計		18,234	合計		18,234

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	対象となる児童の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	
	B 内容の見直し	理由 申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 13

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	04	01
細事業名	小学校教育推進事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校教育の充実及び児童の基礎学力の向上 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 授業を円滑に実施し、きめ細かく行き届いた指導を行うために、複式学級のある学校に対し加配教員を配置し、発達障害児に介護職員を配置した。(スクールサポーターの配置) また、学校の教育力を高め、効果を各校に波及させるために、各種指定事業に対して補助を行った。介護職員10校に12人、心の教室相談員1校に1人、困難校加配3校に3人配置。教育実践研究指定：文部科学省1校、京都府教委3校、市教委6校。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	3,404	国庫支出金		
	7	22,556	府支出金		1,338
	8	31	起債		
	9	107	分担金・負担金		
	11	726	その他		
	19	3,727			
			一般財源		29,213
事業費合計		30,551	合計		30,551

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 15

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	04	01
細事業名	生徒教職員健康管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生徒、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校保健安全法等関係法令に基づき、市内中学校9校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。また、保健室等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	1,119	国庫支出金		
	13	4,592	府支出金		
	14	267	起債		
	18	312	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		6,290
事業費合計		6,290	合計		6,290

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校設置者として生徒、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	学校設置者として生徒、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	学校設置者として生徒、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">生徒、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引き続き疾病の早期発見と予防に努める。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	生徒、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引き続き疾病の早期発見と予防に努める。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	生徒、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引き続き疾病の早期発見と予防に努める。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 16

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	01	01
細事業名	中学校教育振興事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校、家庭、地域との連携を深めながら、学習活動はもちろん、社会奉仕活動、自然体験活動を通して豊かな人間性を育成に努める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学習活動に要する消耗品費等のほか、校外での社会見学や体験活動、クラブ活動等に要するバス利用や選手派遣費用の支援、また、遠距離通学生徒35人に対しバス通学費等への補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な指標設定は困難であるが、校外での社会見学や体験活動を行うことが、児童の心身の育成を図る有効な手段となっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	1,745	国庫支出金		
	11	10,942	府支出金		
	13	7,766	起債		
	14	6,360	分担金・負担金		
	19	3,833	その他		
			一般財源		30,646
事業費合計		30,646	合計		30,646

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	学校外での様々な学習活動が可能となり、クラブ活動も活発に取り組まれている。また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。
	○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)		
改善	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動・クラブ活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。
	○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 17

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	02	01
細事業名	中学校教育振興備品整備事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 授業に必要な教材備品を整備し学習活動の支援を行う。また、学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内9中学校に教材備品や学校図書、クラブ活動に必要な楽器、器具類を整備した。図書購入は、全校で2,262冊である。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 国の基準に沿って不足している教材備品や学校図書の整備を進めているもの。教材備品や図書の購入が、児童の活動への意欲や読書活動の充実に関係している。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	601	国庫支出金	理科教育設備整備費等補助金	3,416
	12	225	府支出金		
	13	31	起債		
	18	19,215	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		16,656
事業費合計		20,072	合計		20,072

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">同上</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	同上	B 現状維持
A 事業拡大	理由	同上			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 18

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	03	01
細事業名	中学校就学援助事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 義務教育の機会均等に資するため、経済的理由又は心身障害によって就学困難な生徒の保護者に対して学用品費等を補助することにより就学の負担を軽減し、中学校での円滑な教育が実施されることを目的とする。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 経済的理由又は心身障害によって就学困難な生徒の保護者に対して学用品費、給食費等を補助した。要保護認定者18人、準要保護認定者225人、特別支援教育就学奨励費支給17人。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 認定者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	20	22,448	国庫支出金	就学援助費補助金等	445
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		22,003
事業費合計		22,448	合計		22,448

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)	B 現状維持
A 事業拡大	理由	補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 19

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	04	01
	細事業名	中学校教育推進事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校教育の充実、生徒の基礎学力の向上及び不登校の未然防止や保健室登校生徒の支援 学校教育的な効果 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 授業を円滑に実施し、きめ細かく行き届いた指導を行うために、発達障害児に介護職員を配置し、不登校の未然防止や、保健室登校の生徒の支援のために、心の教室相談員を配置した。(スクールサポーターの配置) また、学校の教育力を高め、効果を各校に波及させるために、各種指定事業に対して補助を行った。介護職員2校に2人、心の教室相談員9校に9人配置。 教育実践研究指定: 文部科学省1校、京都府教委1校、市教委1校。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	4	2,053	国庫支出金		
	7	11,744	府支出金	京の子ども・夢未来体験活動補助金	504
	11	110	起債		
	19	2,173	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		15,576
事業費合計		16,080	合計		16,080

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 20

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	02	01
	細事業名	幼稚園管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の3幼稚園を管理運営し、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して教育を行うことを基本とし、遊びや体験的な活動を通じた総合的な指導により、人格形成の基礎を培う教育環境を整える。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の3幼稚園に講師2人(臨時職員)やスクールサポーター3人(介護職員)等を配置するとともに、管理運営に要する経常経費の支出を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	4	1,044	国庫支出金	幼稚園就園奨励費補助金	32
	7	8,317	府支出金		
	9	323	起債		
	11	3,185	分担金・負担金		
	12	260	その他	幼稚園保育料	2,144
	13	943			
	18	370			
	その他	285			
	一般財源				12,551
事業費合計		14,727	合計		14,727

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">幼稚園における円滑な教育実践と運営管理がほぼできている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	幼稚園における円滑な教育実践と運営管理がほぼできている。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	○ × 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			幼稚園における円滑な教育実践と運営管理がほぼできている。	
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">教材や老朽化した備品の更新等も抑制する中で、これ以上のコスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	教材や老朽化した備品の更新等も抑制する中で、これ以上のコスト削減の余地は無い。	○ ▲ 少し削減の余地があった	○ × 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			教材や老朽化した備品の更新等も抑制する中で、これ以上のコスト削減の余地は無い。		
○ ▲ 少し削減の余地があった						
○ × 削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
	一般財源				
事業費合計			合計		

ACTION						
改善	事業内容の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">事業内容は現状維持としても、教材や老朽化した備品の更新等を計画的に進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	事業内容は現状維持としても、教材や老朽化した備品の更新等を計画的に進める必要がある。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由			事業内容は現状維持としても、教材や老朽化した備品の更新等を計画的に進める必要がある。	
	B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了						
事業規模の方向性						
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">保育所の統廃合計画の進捗に合わせ、就学前教育の場として、各町1幼稚園設置を視野に入れる必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	保育所の統廃合計画の進捗に合わせ、就学前教育の場として、各町1幼稚園設置を視野に入れる必要がある。	B 現状維持	C 事業縮小	
A 事業拡大	理由			保育所の統廃合計画の進捗に合わせ、就学前教育の場として、各町1幼稚園設置を視野に入れる必要がある。		
B 現状維持						
C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 21

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	04	01
細事業名	園児等健康管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 園児の健康の保持増進を図り、就学前教育を円滑にする。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、幼稚園教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校保健安全法等関係法令に基づき、市内幼稚園3園の園児を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。また、必要な衛生消耗品等を購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	77	国庫支出金		
	13	103	府支出金		
	18	82	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		262
事業費合計		262	合計		262

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 学校設置者として幼稚園園児の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。
A 事業拡大		
C 事業縮小		